

カーボンニュートラル取り組み紹介

SBT取得の背景とプロジェクト発足から活動まで



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



加賀産業株式会社
国分 博史

CONTENTS

- **会社概要**
- **SBT取得の背景**
- **カーボンニュートラル取り組み具体的活動内容**
- **カーボンニュートラル実務紹介**
- **カーボンニュートラル取り組みの成果と今後の活動**

会社概要

～会社概要～

加賀産業株式会社  KAGA
KAGA SANGYO CO.,LTD.



【本社所在地】 名古屋市昭和区白金1-8-7
【売上高】 75.5億円(2025年7月実績)

関連会社:加賀ワークス株式会社

【事業内容】

- 航空宇宙機器用の製品、部品の製造販売
- 建設産業機械用の製品、部品の製造販売
- 保護帽、防災用品感染症対策品製造・販売

金属・非金属加工業、プラスチック成型
本社所在地:長野県飯田市下殿岡733番地1
事業内容:金属・非金属加工業、プラスチック成型
売上高:17.5億2025年7月実績)

◆DP事業部(災害対策事業)

産業・防災ヘルメットブランド「KAGAヘルメット」の製造
企画開発・販売管理を担うと同時に、
防災用品の企画開発販売も担う。



SBT認証企業
グループ全体で2030年までに温室効果ガスを
42%削減目標を掲げる

◆建産機事業

特殊車両・建設機器の部品製作を担う。
主要クライアントはコマツ。



建産機事業20%

◆航空宇宙機器事業

国内機体メーカーから部品製作
依頼を受け、材料・部品の調達
からプランニング、製造、品質保
証までを担う。



航空宇宙機器 60%

DP事業部 20%

～グループ事業拠点～

- ・加賀産業会社：名古屋本社、岐阜支店、小松支店、北名古屋材料センター、関東オフィス
- ・加賀ワークス：飯田本社、天白事業所、金沢事業所

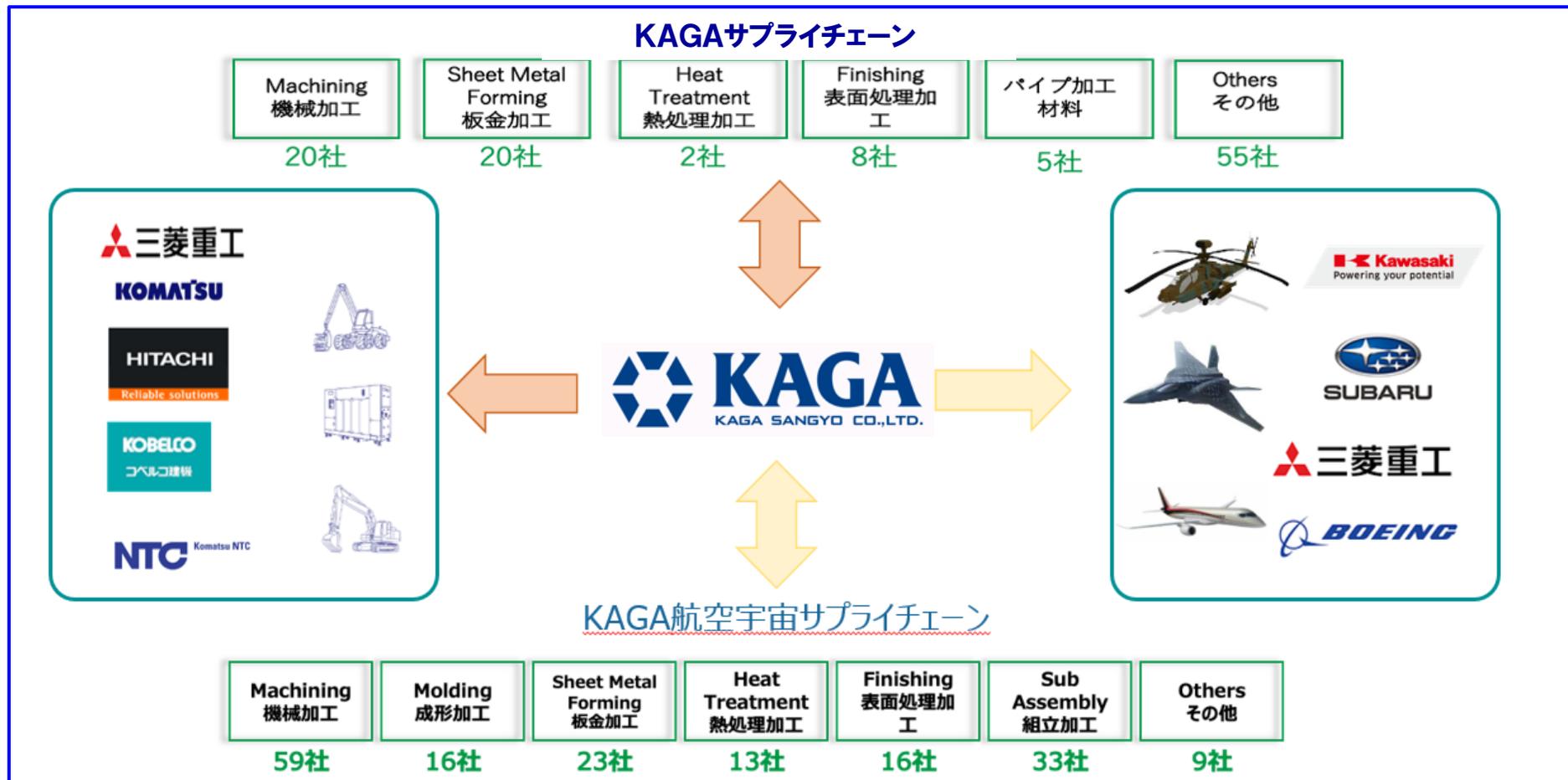
・カーボンニュートラル対象：全8拠点



SBT取得の背景



～航空宇宙機器、建産機事業のサプライチェーン対応～



- ・取引先に大手企業が多く、将来的な企業存続のためにカーボンニュートラル対応が不可欠だった
- ・工場を持たないファブレス企業のため、サプライチェーンでのカーボンニュートラル対応が必要だった



SBT取得によりGHG削減目標を対外的に明確にアピールしたかった

～DP(災害対策)事業の製品開発のため～

- ・大手販社が環境配慮商品の取り扱いに注力し始めている。
- ・CO2賦課金への対応準備

現場の味方は地球のミカタ モノタロウとSDGs

モノタロウは、SDGs関連の商品(エコロジープロダクト)を
商品に取り替えております。
実際に使用する素材を、環境に配慮した商品に置き換えるこ
とで、持続可能な取り組みを一緒に始めましょう。



モノタロウで取り扱うエコロジープロダクト※の 認証マークについて

モノタロウでは、下記認証を受けたエコロジープロダクトを取り扱っております。
お客様それぞれの数値に合わせた素材換算の補助と対応いたします。

※SDGsに該当する認証を受けた商品を「エコロジープロダクト」として扱います。
※商品本体ではなく、梱包・包装などの副資材が認証取得している場合も、換算上での換算対象物となります。
※換算基準は2024年1月1日現在。

エコマーク	グリーン購入法	RoHS	FSC認証
PEFC 森林認証 プログラム	グリーンマーク	再生資源 マーク	バイオマス マーク
バイオマスプラス (BPP)マーク	分別回収プログラム 認定		

グリーン商品ショップ

ASKULグリーン商品について

日々のお買い物がいつのまにかエコロジーにつながる
そんなサービスと豊富な品ぞろえをASKULでは
提供したいと考えています

お客様と一緒にエコロジー

リサイクルの促進や省エネ活動などオフィスのエコロジー対応が進んでいます。
ASKULではグリーン商品のお取り扱いを増やし、お客様のオフィスや仕事場の環境対応をお手伝いします。

▼ グリーン商品をキーワードで探す ▼ グリーン商品をカテゴリーから探す ▼ グリーン商品リストダウンロード

Q グリーン商品をキーワードで探す

Q グリーン商品をカテゴリーから探す

● オフィス用品

事務用品/文房具(22121)	ファイル(12250)	トナー/インク/コピー 用紙(3902)	パソコン/周辺機器/ス メディア(1037)
● ふせん(付箋)(783)	● クリアホルダー(671)	● プリンター用トナーカート リッジ/ドラムユニット(5 92)	● パソコン/タブレット/ス マートフォン(145)
● ノート/メモ(304)	● フラットファイル(2388)	● プリンター用インクカート リッジ(1587)	● パソコン周辺機器・パーツ (53)
● マーカー・蛍光ペン(1908)	● リングファイル(1599)	● OAKリーナー/エアスタ ター(68)	● 液晶モニター/液晶ディス プレイ(1)
● ボールペン(1043)	● バイオファイル(1350)		
● 修正テープ/消しゴム(872)	● ファイル用リフィル(284)		
● テープ(827)	● ファイル用インデックスI2		

環境への取り組みをたのめーるがサポート! サステナブルな社会へ 「たのめーる」の環境対応商品

サステナブルな社会とは「持続可能な社会」を意味し、環境・社会・経済などが将来にわたって安定して維持できる社会にしておくことが近年世界的
な目標として掲げられています。企業として積極的に取り組むことは、企業イメージの向上やビジネスチャンスにも繋がります。今後ますます
重要度を増していきます。たのめーるはサステナブルな社会をもっと目指すお客様の取り組みをサポートいたします。

たのめーるで環境への取り組みをはじめよう。サステナブルな社会へ

— 環境への取り組みをたのめーるを活用するメリット —

環境対応商品の 品揃えが豊富!	環境対応商品が 探しやすい!	環境対応商品の 購買データを 集計できて便利!	回収サービスの 活用でゴミ削減に 貢献できる!
--------------------	-------------------	-------------------------------	-------------------------------

オフィスでいつも使っているものを
環境に配慮した商品にすることで、
環境保全やCO2削減といった
取り組みに寄与できます。

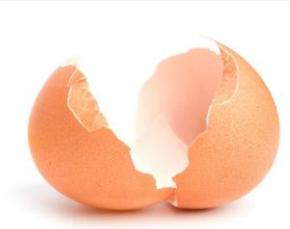
環境対応商品は、環境対応商品
マークを表示。環境対応の認定値
に切り込んで商品検索ができる
ので商品が探しやす。スムーズに
環境対応商品をご購入いただけます。

環境対応商品の購買実績を月別に
集計可能。経費を特定できる
ので、データ分析が簡単に行えま
す。さらに出力したデータを活用
して企業の環境レポートを作成し
たいただけます。

カタログ/レーザープリンター
ナーの使用済資源を無償回収。回
収後はリサイクル資源となるの
で、回収サービスを利用するだけ
で環境配慮に繋がります。

ヘルメットメーカーとして環境配慮型商品を開発

卵の殻20%とリサイクルナイロン50%






回収パーテーション5%とABS95%






GHG削減製品を開発したため、SBTを取得し対外的に製品に説得力を持たせたかった。

～製品のGHG排出量算出～

・中小機構様ご支援を頂き、製品のScope1. Scope2. Scope3. のGHG算出を実施した。



オサメット 部品構成表

排出源単位は最新のものを用いること。

NO.	部品図面番号	項目	最終形状	項目	材質	部品点数	SCOPE 1					SCOPE 2						
							発注元	樹脂生成 (kg)	樹脂CO2排出量	配送 (km)	輸送CO2排出量	合計 (kgCO2)	発注元	質量 (g)	樹脂消費量 (g)	歩留り (%)	成形消費電力	成形CO2排出量
0	-101	OSAMET		ASSY	-	-	-	-	-	-	-	加買ワークス (天白事業部)	-	-	-	-	-	
1	-103	帽体トップ		帽体トップ	ABS	1	加買ワークス (陸物産)	0.08355	0.332529	425	0.005290804	0.337819804	加買ワークス (天白事業部)	81.8	83.55	97.90544584	0.060114338	0.028794
2	-105	帽体上段		帽体上段	ABS	1	加買ワークス	0.0841	0.334718	425	0.005325633	0.340043633	加買ワークス	46.1	84.1	54.8156956	0.127944168	0.061285
3	-107	帽体中段		帽体中段														
4	-109	帽体下段		帽体下段														
5	-111	逆さハンモック		逆さハンモック														
6	-113	ヘッドバンドL		ヘッドバンドL														

10t車 (軽油)

どの成形機でいつ製造したのか。
 単位は各アイテムで明記。給圧か電動かにより係数等を置いて算出すればよい。
 微子データより一定数で算出、サイクル時間で割り算する。動力発電で考える。

上流

Scope3

①原材料

④輸送・配送

⑦通勤

自社

Scope1

燃料の燃焼

Scope2

電気の使用

下流

Scope3

⑪製品の使用

⑫製品の廃棄

* その他：②資本財、③Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動、⑤廃棄物、⑥出張、⑧リース資産

* その他：⑨輸送・配送、⑩製品の加工、⑬リース資産、⑭フランチャイズ、⑮投資

算出方法をテンプレート化したため、他製品にも応用が可能になった。

～SBT取得～

Scope 1、Scope 2に対してGHG(温室効果ガス)排出量を算出、2030年までに目標42%削減

＊加賀産業、加賀ワークスの加賀グループとして取得

SBT
 ＊SBT申請検討時(2022年7月)はSBT取得企業230社程度、現在2000社超え

SBTとは？
 企業が環境問題に取り組んでいることを示す目標設定のひとつで、2015年のパリ協定で誕生した新たな取り組み。SCIENCE BASED TARGETSの頭文字を取った言葉で、「科学と整合した目標設定」や「科学的根拠に基づいた目標設定」などと訳されます。目標設定とは産業革命前より気温上昇を2°Cより十分に下回る水準に抑え、また1.5°Cに抑える気候化学(IPCC)に基づく削減シナリオを整合した削減目標を設定すること。

CO2の年間排出量 (基準年: 2021)

Scope 1 (直接排出)

対象	CO2 排出量 (t-CO2/年)
ガソリン	109.67
ガス (都市ガス)	24.99
ガス (LPG)	23.70
軽油	12.63
灯油	7.31
Total	178.3

Scope 2 (間接排出)

対象	CO2 排出量 (t-CO2/年)
電気	583.42
Total	583.42

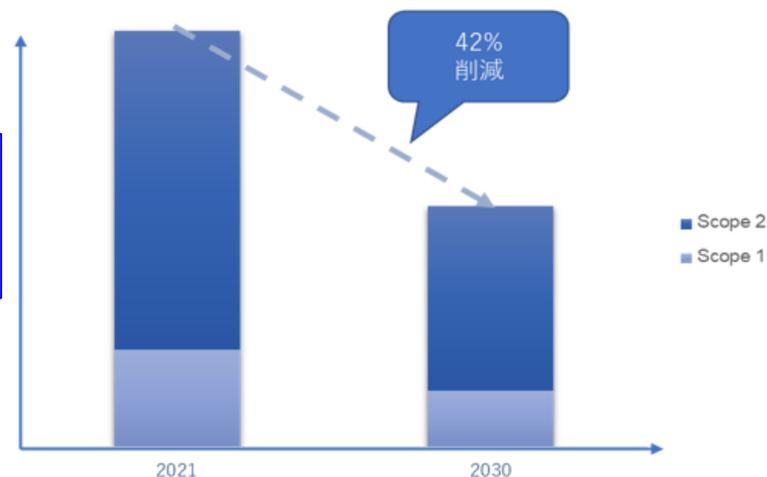
Scope 1+2 の排出量合計: 761.72 t-CO2/年*

*グループ全体



目標 2023年5月 SBT認証取得

CO2の年間排出量



Scope	CO2排出量 (基準年)	目標年 (2030)	CO2排出量 (目標年)	削減率
1	178.30	2030	103.41	42%
2	583.42	2030	338.48	42%
1+2	761.72	2030	441.80	42%

➡ SBTを取得できたが、事業、拠点別の具体的な削減計画、活動計画、運用が出来ていなかった。

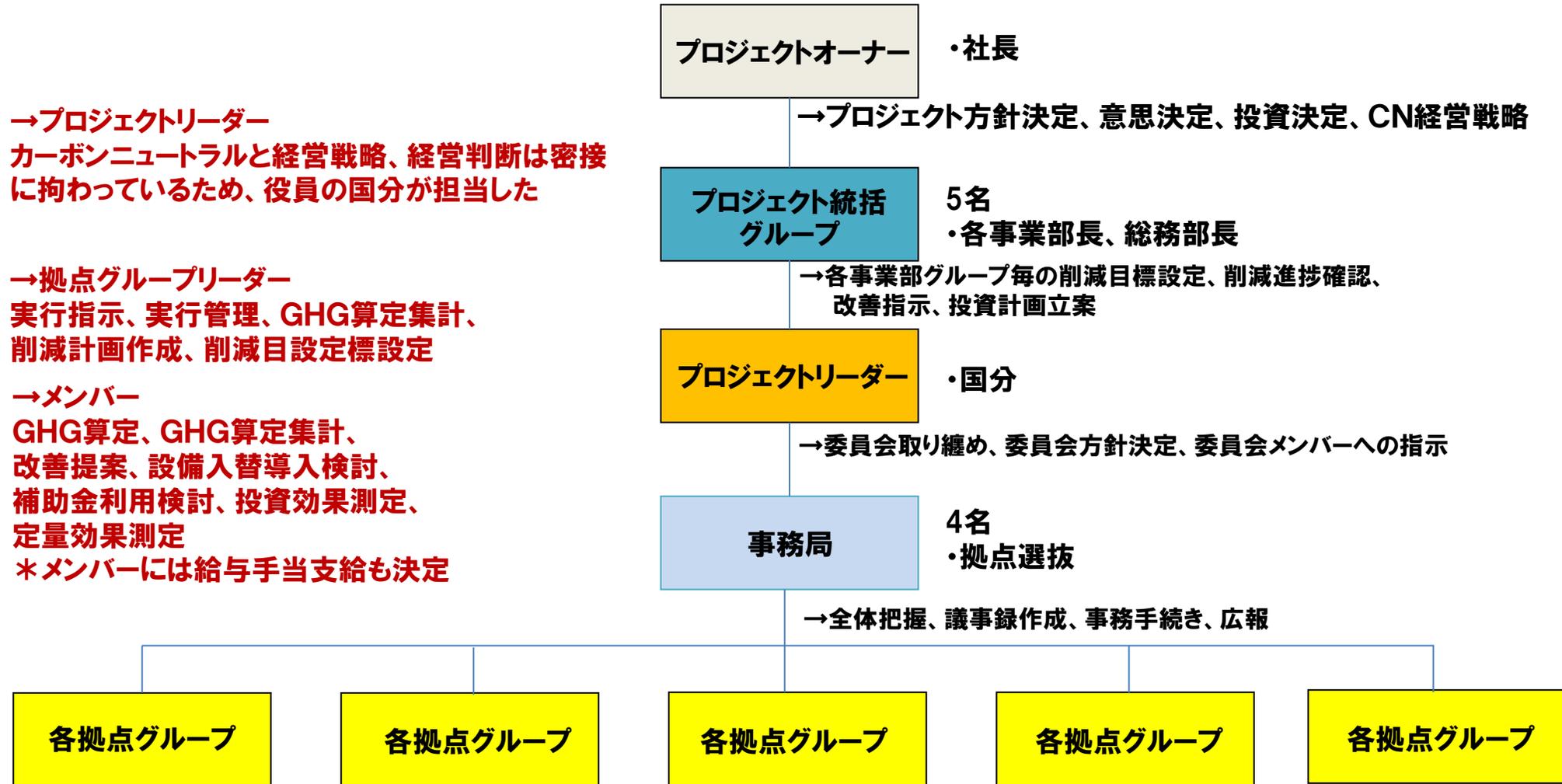
カーボンニュートラル取り組み具体的活動内容



～カーボンニュートラル取り組み具体的活動内容～

- ・2023年5月：SBT取得、拠点個々に活動実施
- ・2024年2月：中小機構経営相談参加し、グループ全体のCN取り組み支援を依頼
- ・2024年3月：加賀グループカーボンニュートラル宣言及びカーボンニュートラル委員会発足
- ・2024年4月：カーボンニュートラル委員会キックオフ
- ・2024年8月：中小機構カーボンニュートラルハンズオン支援開始
- ・2024年8月：全拠点全使用設備の消費電力算出
- ・2024年9月：全拠点独自でGHG排出量を算出
- ・2024年12月：全拠点別GHG削減目標設定
- ・2025年5月：全拠点、全社ロードマップ作成、定量効果算出

～プロジェクト(カーボンニュートラル委員会)発足～



→プロジェクトリーダー
カーボンニュートラルと経営戦略、経営判断は密接に拘わっているため、役員の国分が担当した

→拠点グループリーダー
実行指示、実行管理、GHG算定集計、削減計画作成、削減目設定標設定

→メンバー
GHG算定、GHG算定集計、改善提案、設備入替導入検討、補助金利用検討、投資効果測定、定量効果測定
*メンバーには給与手当支給も決定

- ・総務G(本社3F) ・建機産機G(小松支店) ・岐阜航空宇宙事業G(岐阜支店) ・本社航空(本社2F)
 - ・材料センターG(材料センター) ・企画開発G(本社2F) ・DPG(本社1F) ・飯田G(飯田事業所)
 - ・天白G(天白事業所) ・金沢G(金沢事業所) ・横浜G(横浜支店)
- 各3名 ・リーダー1名 ・担当2名 総勢30名

～中小機構様カーボンニュートラルハンズオン計画～

日程概要計画								
日程	1ヶ月目	2ヶ月目	3ヶ月目	4～6ヶ月目	7～9ヶ月目	10ヶ月目	備考	
	8月	9月	10月	11～1月	2～4月	5月		
全体支援目標	CNの継続的な取組のための体制構築と対応計画の策定と推進							
支援テーマ								
社内意識醸成と体制構築	支援目標	<ul style="list-style-type: none"> -CN化の社内浸透 -取組み体制構築 -CO2排出量の見える化 						
	主な支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ☆キックオフミーティング ①CNに関する基本情報 <ul style="list-style-type: none"> -経営陣、メンバーの共有 -SBTの対応について -世の中の潮流、行政、取引先方針 -加賀ワークス 飯田事業部訪問調査 	<ul style="list-style-type: none"> ②社内体制構築と運営のポイント -継続的な取組みの社内浸透 -メンバーの役割認識 -社内外広報 	<ul style="list-style-type: none"> ③GHG排出量算定方法の確定 ④自社GHG排出量の把握 <ul style="list-style-type: none"> -各拠点別目標設定 -排出量の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ④自社GHG排出量の把握 <ul style="list-style-type: none"> -排出量の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ④自社GHG排出量の把握 <ul style="list-style-type: none"> -排出量の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ④自社GHG排出量の把握 <ul style="list-style-type: none"> -排出量の把握 	
討 SBT目標達成に向けた削減策の検討	支援目標	計画的な削減プランの策定						
	主な支援内容			<ul style="list-style-type: none"> ⑤削減対策の検討 活動の視点=ECRS <ul style="list-style-type: none"> -脱炭素化 -省エネ、低炭素化 -エネルギー転換 -電力再エネ etc. 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤削減対策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤削減対策の検討 ⑥2030年に向けたロードマップの策定 <ul style="list-style-type: none"> -削減対策のロードマップ作成 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥2030年に向けたロードマップの策定 <ul style="list-style-type: none"> -経営戦略(設備更新・投資計画)と整合させた年次計画、中長期計画 	
CNの継続的活動に向けた計画取り	支援目標	CN輪の経営戦略						
	主な支援内容			<ul style="list-style-type: none"> ⑦SBTの計画の精査 <ul style="list-style-type: none"> -事業計画と目標の整合化 ☆中間報告会 	<ul style="list-style-type: none"> ⑧炭素生産性向上のポテンシャル検討と将来のCN戦略 		<ul style="list-style-type: none"> ☆終了報告会 	
派遣日数	2 日	2 日	2 日	4 日	3 日	2 日	計 15 日	
派遣場所	加賀産業(株)本社 加賀ワークス飯田事業所	加賀産業(株)本社	加賀産業(株)本社	加賀産業(株)本社	加賀産業(株)本社	加賀産業(株)本社		
講習時期				中間 11月		終了 5月		

～中小機構様ハンズオン支援活動内容～

	日程	活動内容	成果
第1回	2024年8月8日(木)	キックオフ、カーボンニュートラル知識習得(並行して全従業員に対してWEBコンテンツによる勉強会実施)	基礎知識習得
第2回	2024年8月29日(木)	カーボンニュートラル知識習得、GHG算定勉強会	GHGの自己算出
第3回	2024年9月12日(木)	GHG算定勉強会、課題に対する算出	
第4回	2024年9月26日(木)	飯田事業部グループ個別相談	現状把握、分析
第5回	2024年10月10日(木)	計画フレーム勉強会、具体的削減方法勉強会、各グループ現状分析発表	
第6回	2024年10月24日(木)	各グループGHG削減目標発表、小松支店グループ個別相談(新社屋竣工のため)	
第7回	2024年11月7日(木)	削減対策再エネ勉強会、他社事例勉強会、金沢事業部グループ個別相談	
第8回	2024年11月21日(木)	中間報告会、各グループ削減計画削減項目発表	削減目標設定
第9回	2024年12月12日(木)	省エネメニュー紹介、定量化勉強会、各グループ削減計画削減項目発表	
第10回	2025年1月16日(木)	CNコンテンツ紹介、各拠点計画フレーム発表、投資計画、効果測定、定量測定	効果測定、定量測定
第11回	2025年2月13日(木)	自治体支援内容及び補助金例紹介、各拠点計画フレーム発表、投資計画、効果測定、定量測定	
第12回	2025年3月13日(木)	国の支援施策紹介、各拠点計画フレーム取り纏めとCN経営戦略立案	削減ロードマップ作成、削減目標、投資計画、費用計画策定
第13回	2025年4月10日(木)	カーボンニュートラル資料紹介、事例紹介、各拠点計画フレーム最終報告	
第14回	2025年5月8日(木)	各グループ投資及び費用内容発表、全社計画フレーム決定	
第15回	2025年5月22日(木)	最近のカーボンニュートラル動向、終了報告会	ハンズオン活動報告

～全拠点での導入設備の洗い出し～

No	設備・機器名	モデル/品番	台数	エネルギー種	定格能力		稼働時間		備考		
					数量	単位	日内時間 [h/日]	年間日数 [日/年]	カタログ	■前提条件 (1) 年間稼働日(2023年)・・・237日 (2) 年間稼働予定日(2024年)・・・237日	
例	1F空調	-	8	電気	4.270	kW	8	250			
1	エアコン1室内機	SPW-SRP80A	1	電気	8.000	kW	9	237	○		
2	エアコン2室内機	S-G112UT1	1	電気	13.200	kW	9	237	○		
3	蛍光灯(メイン)	Hf FHF32	26	電気	1.170	kW	9	237	○		
4	蛍光灯(サブ)	NNL 4600ENK LE9	9	電気	0.147	kW	9	237	○		
5	ノートPC	dunabook B65/EP	1	電気	0.045	kW	9	237	○		使用率：低
6	デスクトップPC										
7	モニター										
8	モニター										
9	ノートPC										
例	1F空調	-	8	電気	4.27	kW	8	250	10		
10	モニター	1 蛍光灯1	LFIR040-16N50G	2	電気	0.034	kW	9	237	○	倉庫②-1
11	ノートPC	2 火災報知器1		1	電気	#NAME?	kW	24	365		
12	モニター	3 蛍光灯2	LFIR040-16N50G	8	電気	0.134	kW	9	237	○	倉庫②-2
13	ノートPC	4 エアコン1	F56NTEP-W	1	電気	6.700	kW	24	365	○	
14	モニター	5 換気扇	VD-18ZLC9-S	1	電気	0.030	kW	24	365	○	
15	ノートPC	6 除湿機									
16	モニター	7 火災報知器2									
17	ノートPC	8 火災報知器3									
18	ノートPC	9 モニター	例 1F空調	-	8	電気	4.27	kW	8	250	10
19	ScanSnap	10 デスクトップPC1	1 蛍光灯	LFIR040-16N50G	26	電気	0.02	kW	9	237	○
20	ノートPC	11 デスクトップPC2	2 エアコン	S-G56TS1(2)	1	電気	6.70	kW	9	237	○
21	モニター	12 印刷機1	3 電話	NP320(W)(SA)	1	電気	0.60	kW	9	365	○
22	ノートPC	13 印刷機2	4 ジャッター	DN23-90	1	電気	1.50	kW	1	237	○
23	モニター	14 交流安定化電源装置	5 カメラ1	OA-6000S(起動用センサ)	2	電気	0.02	kW	24	365	○
24	ノートPC	15 電気マイクロメーター	6 カメラ2	OA-6000S(起動用センサ)	1	電気	0.02	kW	24	365	○
25	モニター	16 全自動歯形・歯すじ・ビッ	7 火災報知設備	詳細不明	6	電気	#NAME?	kW	24	365	
26	ノートPC	17 両歯面 歯車かみ合い	8 電灯(電球)	LDA9N-H-E26	2	電気	0.01	kW	2	237	○
27	モニター	18 電灯(シーリング)	9 電灯(シーリング)	詳細不明	1	電気	#NAME?	kW	2	237	
28	ノートPC	19 エアコン2	10 エアコン	S-G90UT1(3)	2	電気	9.50	kW	9	237	○
29	モニター	20 火災報知器4	11 換気扇	詳細不明	1	電気	#NAME?	kW	9	237	
30	ノートPC	21 エアコン2リモコン	12 誘導灯(豆電)	LB91660(メーカー：松下電器(Panasonic))	1	電気	0.01	kW	24	365	○
		22 蛍光灯4	13 非常灯(緑)	FA21959K	1	電気	0.23	kW	24	365	○
		23 エアコン3	14 火災報知受電機	FAPJ105N-R	1	電気	0.07	kW	24	265	○
		24 エアコン4	15 プロジェクター	EB-1430WT	1	電気	0.38	kW	9	237	○
		25 オイルフリースクロールコン	16 複合機	LBP9200C	1	電気	1.26	kW	24	365	○
		26 自動販売機	17 印刷機	PX-M741F	1	電気	0.02	kW	24	365	○
		27 エアコン3リモコン	18 シュレッダー	OF12M	1	電気	0.29	kW	24	365	○
			19 電気ケトル	KT10 Pro	1	電気	1.20	kW	1	237	○
			20 ハブ1	GS108PEv3	2	電気	0.06	kW	24	365	○
			21 ハブ2	LSW4-GT-8 NS/WH	1	電気	0.01	kW	24	365	○
			22 Webカメラ	BCC950	1	電気	0.01	kW	4	237	○
			23 スピーカー	PJP-25UR	1	電気	0.00	kW	4	237	○
			24 リモコン	CZ-10RT4C	4	電気	0.02	kW	9	237	○
			25 室外機	R56NEP	1	電気	1.70	kW	9	237	室外機のラベルより定格能力参照

 **全拠点での導入設備の洗い出し、消費電力、稼働時間を調査実施し自己分析を開始**

～自社によるGHG排出量算出～

【SBT取得後のGHG排出量実績】

ロケーション	2021年度				2022年度				2023年度				2023年対2021年度基準比			
	Scope1	Scope2	TOTAL	シェア	Scope1	Scope2	TOTAL	シェア	Scope1	Scope2	TOTAL	シェア	Scope1	Scope2	TOTAL	削減率
白金本社	66.24	26.85	93.09	12.2%	59.96	26.34	86.30	12.3%	57.37	23.61	80.98	13.6%	86.61%	87.93%	86.99%	13.01%
岐阜支店	19.96	27.62	47.58	6.2%	16.91	24.96	41.87	6.0%	18.49	22.51	41.00	6.9%	92.63%	81.50%	86.17%	13.83%
材料センター	8.38	34.59	42.97	5.6%	6.66	36.88	43.54	6.2%	13.17	46.30	59.47	10.0%	157.17%	133.85%	138.40%	-38.40%
小松支店	29.40	12.57	41.97	5.5%	27.26	12.47	39.73	5.7%	25.44	11.61	37.05	6.2%	86.54%	92.35%	88.28%	11.72%
飯田事業部	21.93	192.06	213.99	28.1%	29.51	155.04	184.55	26.3%	25.29	96.97	122.26	20.5%	115.32%	50.49%	57.13%	42.87%
天白事業部	8.23	139.15	147.38	19.3%	9.71	126.78	136.49	19.5%	7.81	63.13	70.95	11.9%	94.95%	45.37%	48.14%	51.86%
金沢事業部	24.16	150.60	174.76	22.9%	20.11	148.52	168.63	24.1%	24.04	159.47	183.51	30.8%	99.50%	105.89%	105.01%	-5.01%
TOTAL	178.30	583.44	761.74	100.0%	170.12	530.99	701.11	100.0%	171.62	423.60	595.22	100.0%	96.25%	72.60%	78.14%	21.86%

2021年度及び2022年度は外部に委託しGHG排出量を算出

2023年度は各拠点メンバーによりGHG排出量を算出



メンバーで排出量を算出できるようになり、自己分析が短サイクルで可能となった。

～各拠点毎でGHG削減目標及びロードマップ作成～

大項目	中項目	実施年度	削減等	年度							合計			
				2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030			
①設備導入	LED電灯切替	2023	実施状況											
			削減	0	3.24	3.24	3.24	3.24	3.24	3.24	3.24	22.68	tCO2	
			投資	175	0	0	0	0	0	0	0	175	万円	
			費用	-17.8	-17.8	-17.8	-17.8	-17.8	-17.8	-17.8	-17.8	-142.2	万円	
②運用改善	エコドライブ・ ガソリン使用量 削減	2024	実施状況											
			削減	2.60	6.19	7.95	9.72	11.49	13.27	15.04	16.82	80.48	tCO2	
			投資	0	0	0	0	0	0	0	0	0	万円	
			費用	-15.0	-34.8	-48.1	-61.4	-74.8	-88.1	-101.5	-114.9	-523.5	万円	
③運用改善	未使用空間の電 気消灯の徹底& 使用電力の見え る化	2024	実施状況											
			削減	23.61	22.75	22.25	20.23	18.96	17.7	16.43	14.66	132.98	tCO2	
			投資	175	332.9	1.5	0	0	0	0	0	334.4	万円	
			費用	-17.8	-14.5	-19.0	-36.9	-48.1	-59.3	-70.5	-86.1	-334.4	万円	
④運用改善	エアコン温度管 理の取組み& 断熱シート取付	2024	実施状況											
			削減	4.16	4.16	6.04	7.74	9.26	9.26	9.26	9.26	54.99	tCO2	
			投資	0	0	0	0	0	0	0	0	0	万円	
			費用	94.5	119.3	107.4	96.6	87.0	87.0	87.0	87.0	671.1	万円	
⑤運用改善	教育関連取組 み例	2024	実施状況											
			削減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	tCO2	
			投資	0	0.0	45.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	73.0	万円	
			費用									0	万円	

・
・
・

合計	削減	30.37294	36.34065	39.4869	64.53505	66.56403	67.07934	67.58464	67.58994
	投資	350	332.86	47	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5
	費用	236.6893	69.9527	40.25711	9.830198	-24.3873	-48.9424	-73.4976	-102.527

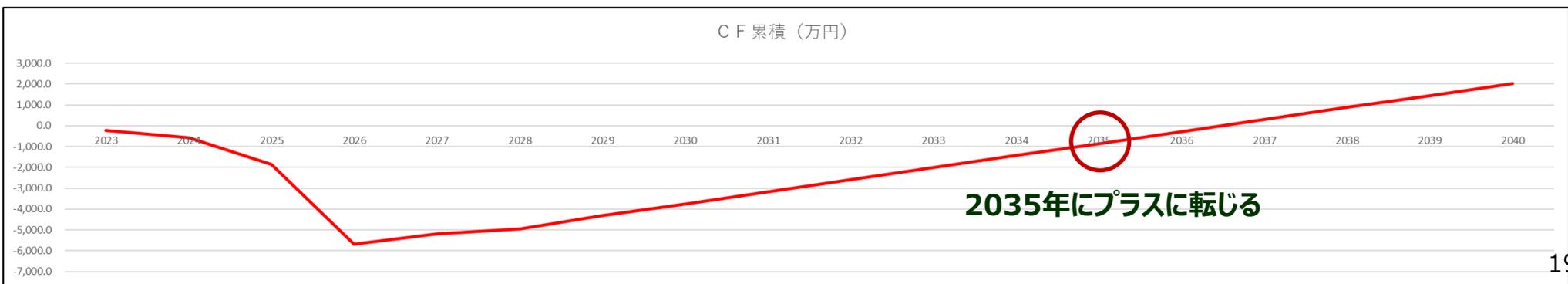
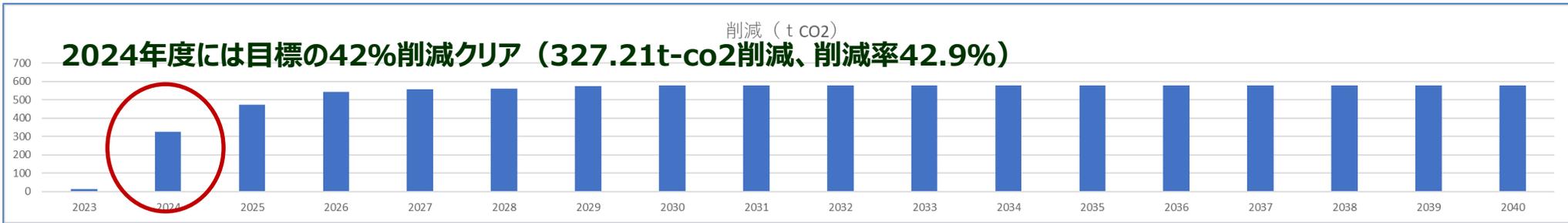
年度別のGHG目標設定と投資金額、費用の把握

～全グループ削減目標及び定量測定まとめ～

拠点	削減等	年度								合計	2021年排出量 (t-co2)	2030年削減 (t-co2)	削減率	
		2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030					
本社	削減	10.04	14.46	18.10	44.31	47.60	49.38	51.15	52.93	287.98	tCO2	93.09	52.92	56.8%
	投資	175.0	382.9	65.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	650.9	万円			
	費用	-100.2	14.4	25.2	21.3	32.3	18.9	5.6	-7.8	9.8	万円			
岐阜												47.58	36.13	75.9%
小松支店												41.97	19.07	45.4%
材料センター												42.97	36.71	85.4%
加賀産業計												225.61	144.83	64.2%
飯田事業部												213.99	184.88	86.4%
天白事業部												147.38	129.68	88.0%
金沢事業部												174.76	120.58	69.0%
加賀ワークス計												536.13	435.14	81.2%
グループ計												761.74	579.97	76.1%

～全グループ定量測定～

年度	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040
削減 (t CO2)	12.54	327.21	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00	410.00
投資 (万円)	325.0	382.9	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0
費用 (万円)	-100.8	-23.6	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0
C F (万円)	-224.2	-359.3	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0
C F 累積 (万円)	-224.2	-583.5	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0	-1,000.0



カーボンニュートラル実務紹介

本社G 2024年度の主な取組(実務)7つをご紹介します



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

加賀産業株式会社
総務部 会計課 グループ長 高畠 純樹

～カーボンニュートラル実務紹介～

① 設備導入 (LED電灯切替) 2023年度～

従来の蛍光灯



LED



【進捗】

2023年度 本社LED化完了



2023年度 スコープ2GHG排出量

12%削減 (2021年度比)

～カーボンニュートラル実務紹介～

② 運用改善(省エネ・節電) 2024年度4月～

- (1) 消灯の徹底をCN委員会より従業員へアナウンス
- (2) 従業員へ省エネ・節電等の活動を周知及び徹底
- (3) 昼休み中、全フロアの照明を15分間消灯
- (4) (3)項の効果が認められれば消灯時間を延長

【想定効果】

- (1) 電気の消し忘れ対策
- (2) GHG排出量を約1～3%削減見込み(2021年比)
- (3) 各従業員のCN活動に対するマインドセットが可能



2024年度GHG排出量(電気由来)9.8%削減 (2021年度比)

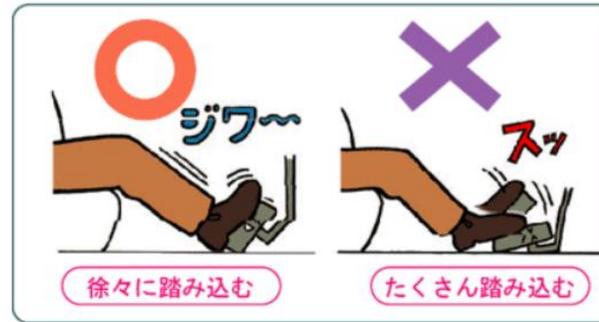


～カーボンニュートラル実務紹介～

③ 運用改善(エコ運転・技術の習得) 2024年度4月～

- (1) エコドライブの実施
- (2) 朝礼等で呼びかけも実施

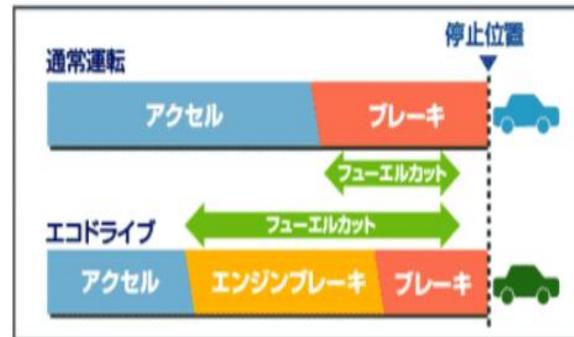
エコドライブ(発進時アクセル)



【想定効果】

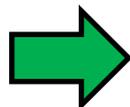
- (1) 航続距離が伸びる
- (2) ガソリン使用量減
- (3) ガソリン給油時間減

エコドライブ(減速時イメージ)



～カーボンニュートラル実務紹介～

④ エネ転(社用車(リース)HV・EV化) 2024年度～



燃費の悪いガソリン車をリースアップ時に順次HV・EV車に切替を実施
→燃費向上ガソリン使用量削減

- ・2024年度にSUBARU SOLTERRA 1台を導入済み (HAKOBUNEのサービスを活用)
- ・同年度に充電ステーション1台も併せて導入済み



2024年度GHG排出量(ガソリン由来)15.8%削減 (2021年度比)

～カーボンニュートラル実務紹介～

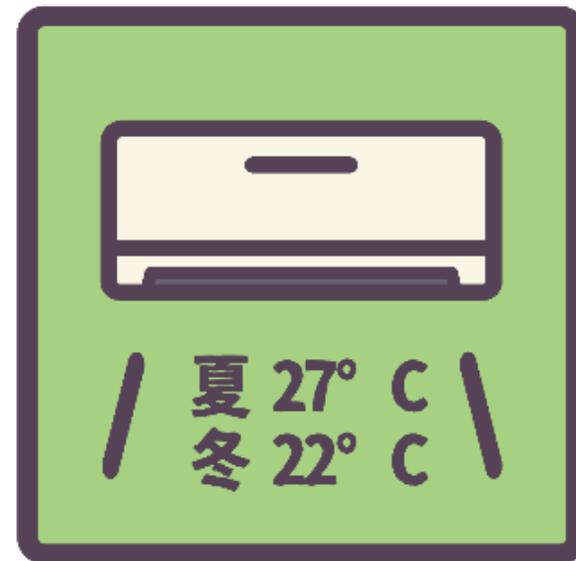
⑤ 運用改善(エアコン温度管理) 2024年度4月～

(1) エアコンの推奨温度管理

(1.1) 夏:27℃

(1.2) 冬:22～23℃

(2) 推奨温度は必要に応じて適宜見直し実施



【想定効果】

(1) CN活動に係る意識が向上

(2) 2025年のエアコン用ガス消費量に係るGHG排出量を約10%削減(2021年比)



2024年度GHG排出量(ガス由来)10.1%削減(2021年度比)

～カーボンニュートラル実務紹介～

⑥HP・ポスター作成・掲示 & CN教育 2024年度～

(1) CN目標や取り組み状況を発信

(1.1) 当社HP/社内報 …… 内外部へのアピール

(1.2) ポスター …………… 内部へのアピール

(2) 従業員にCN関連動画教育を実施

【想定効果】

(1) 外部へのCN取り組みをアピールできる

(2) CN委員会から各従業員に協力を強調および状況把握できる

(3) 各従業員のCN活動に対するマインドセットが可能



- ・従業員からのCNに関する関心や自主的な節電・省エネが増えた
- ・委員メンバーから見たCN意識向上が実感できた

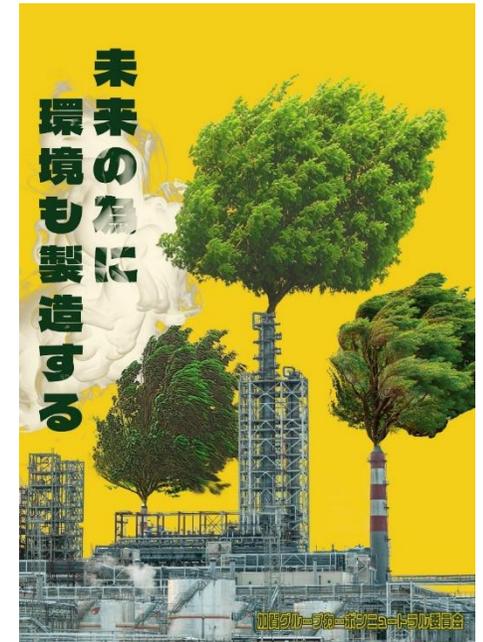


加賀産業グループカーボンニュートラル宣言

加賀産業グループはカーボンニュートラルを世界のグローバル課題として捉え、「サファイアーション」(製造)の領域でZERO-CARBON化の実現を目指します。

加賀グループのビジョンZERO-CARBON

2030年度目標	加賀グループGHG削減率 44.7%削減(2018年度) ※Scope1
2050年度目標	加賀グループGHG削減率 ZERO-CARBON ※Scope1



～カーボンニュートラル実務紹介～

⑦その他(GHG排出量算定に係る実務) 2024年度～

	ENIMAS 人感化/削減 CF電気(2026年度より実施予定)									
年度	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
削減(tCO2)	0	0.51	3.24	2.64	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
投資(万円)	0	0	0	0.0	347.9	0	0	0	0	0
費用(万円)	0	0	0	3.4	-1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
GHG排出量(tCO2)	26.85	26.34	23.61	24.21	26.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

手順② 本社4G計画フレーム(修正版)
大項目③運用改善の欄に
値だけコピペすること。



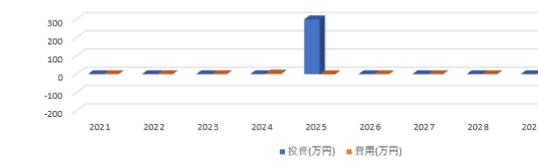
年度	排出係数	単位
2021年度	0.000480	tCO2/kWh
2022年度	0.000452	tCO2/kWh
2023年度	0.000452	tCO2/kWh
2024年度	0.000459	tCO2/kWh
2025年度	0.000506	tCO2/kWh
2026年度		tCO2/kWh
2027年度		tCO2/kWh
2028年度		tCO2/kWh
2029年度		tCO2/kWh
2030年度		tCO2/kWh

各排出源の使用量を入力するとGHG排出量が自動で算出できる！

2021～2030年までモニタリング可能

※毎年度8月～排出係数更新

手順② 下記フォーマットで入力のこと。



2021年度	月	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	合計
本社G														
費用(年度間)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
GHG排出量(tCO2)		2.13	2.22	2.05	2.14	2.23	2.46	2.47	2.42	2.40	1.83	1.97	2.54	26.85
総使用量(kWh)		4,442.00	4,621.00	4,276.00	4,456.00	4,639.00	5,121.00	5,153.00	5,034.00	4,994.00	3,806.00	4,098.00	5,294.00	55,934.00
税込金額(円)		158,479	164,317	157,956	167,181	173,294	185,598	191,489	196,040	200,834	169,051	177,727	216,978	2,158,944

2024年度	月	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	合計
本社G														
削減(4.11kWh)に係る机上検討による算出														
机上計算による月のGHG排出量(1.895tCO2)_202504:		2.165	4789.82											

- (1) 本社GメンバーでGHG算定・モニタリングのフォーマットを作成(運用ルール含む)
- (2) 本社G委員メンバー毎月電気・ガス・ガソリン使用量・金額を毎月上記フォーマットに入力
- (3) 月一回程度の小ミーティングの実施(意見交換・各種取組み検討等)

⑧2024年度の活動を振り返って(まとめ)

2021年度 VS 2024年度 GHG排出量 (本社)



1. 2024年度の成果

- 2021年度比で18%削減(16.77tCO2)を達成
- LED化や運用改善を軸とした即効性のある対策で確実な成果を可視化
- 短期集中の取組みにより、チームの実行力と改善の可能性を証明できた
- CN活動以外でもコミュニケーションが盛んになりシナジー効果が得られた

2. 達成できたこと・できなかったこと

- 達成できた点: Scope1/2ともに削減実績を確保
- 未達の点: 各種取組みの目標値に対して一部未達も多かった(費用面や削減幅では想定との差があった)

3. 今後の展望

- 本格稼働のフェーズへ(2025年度以降は教育的取組み、HV/EV化、低炭素化施策など)
- 2024年度の経験を糧に、着実かつ加速的に削減を進める土台を築きたい

カーボンニュートラル取り組みの成果と今後の活動



～加賀グループカーボンニュートラル宣言～

加賀産業グループカーボンニュートラル宣言

加賀産業グループはカーボンニュートラルを喫緊のグローバル課題として捉え、「サプライチェーン」と「製品」の両軸で「ZERO-CARBON」社会の実現を目指します。

加賀グループのミッションZERO-CARBON

Scope 1 , Scope 2	2030年度目標	加賀グループGHG排出削減 ▲42%削減(2021年度比)
	2050年度目標	加賀グループGHG排出削減 ZERO-CARBON
Scope 3	サプライチェーン全体を通じた社会への貢献	

経営環境

脱炭素社会・循環型社会・生物多様性への取り組みを通じ、環境を起点とした事業機会の拡大を目指す。

2030年SBT1.5°C目標の達成GHG削減42%以上(2021年度比)

Scope 1 , Scope 2	<ul style="list-style-type: none">■2024年:カーボンニュートラルに対する社内意識醸成、体制構築とSBT目標達成に向けたGHG削減策の検討■2025年:カーボンニュートラルの継続的活動■2026年:グループ全体でGHG2021年度比23.3%以上削減
Scope 3	<ul style="list-style-type: none">■サプライチェーンパートナーとの協働取り組み■顧客への脱炭素価値提供■CFPの自己基準策定と基準に準拠した自社製品のGHG削減

 ホームページにもカーボンニュートラル宣言を掲載し、企業イメージが向上

～カーボンニュートラル活動成果～



➡ **メディアにも取り上げられ、企業イメージのアップと製品知名度がアップした**

～カーボンニュートラル活動成果～

ロケーション	2021年度				2022年度				2023年度				2024年度				2021年度基準比			
	Scope1	Scope2	TOTAL	シェア	Scope1	Scope2	TOTAL	シェア	Scope1	Scope2	TOTAL	シェア	Scope1	Scope2	TOTAL	シェア	Scope1	Scope2	TOTAL	削減率
白金本社	66.24	26.85	93.09	12.2%	59.96	26.34	86.30	12.3%	57.37	23.61	80.98	13.6%	52.11	24.21	76.32	16.7%	78.67%	90.17%	81.99%	18.01%
岐阜支店	19.96	27.62	47.58	6.2%	16.91	24.96	41.87	6.0%	18.49	22.51	41.00	6.9%	17.21	24.61	41.82	7.0%	86.22%	89.10%	87.89%	12.11%
材料センター	8.38	34.59	42.97	5.6%	6.66	36.88	43.54	6.2%	13.17	46.30	59.47	10.0%	10.32	49.54	59.86	10.1%	123.16%	143.22%	139.31%	-39.31%
小松支店	29.40	12.57	41.97	5.5%	27.26	12.47	39.73	5.7%	25.44	11.61	37.05	6.2%	23.05	13.56	36.61	6.2%	78.40%	107.88%	87.23%	12.77%
飯田事業部	21.93	192.06	213.99	28.1%	29.51	155.04	184.55	26.3%	24.25	202.00	122.26	20.5%	22.77	0.00	22.77	3.8%	103.83%	0.00%	10.64%	89.36%
天白事業部	8.23	139.15	147.38	19.3%	9.71	126.78	136.49	19.5%	7.81	63.13	70.95	11.9%	8.95	1.13	10.08	1.7%	108.75%	0.81%	6.84%	93.16%
金沢事業部	24.16	150.60	174.76	22.9%	20.11	148.52	168.63	24.1%	24.04	159.47	183.51	30.8%	26.77	181.75	208.52	35.0%	110.80%	120.68%	119.32%	-19.32%
TOTAL	178.30	583.44	761.74	100.0%	170.12	530.99	701.11	100.0%	170.58	528.63	595.22	100.0%	161.18	294.80	455.98	80.5%	90.40%	50.53%	59.86%	40.14%

カーボンフリー利用

活動量の増加



- ・ロードマップ試算42%削減には及ばなかった
- ・21年度の比較して活動量が増加した拠点があった
- ・カーボンフリー電力への切り替えが効果大

～炭素生産性～

【加賀産業炭素生産性】

期	付加価値額	従業員数	従業員1人当たり	売上額	対売上比率	GHG	1t-co2当たり
49期	998,306,432	112人	8,913,450	4,182,809,957	23.9%	225.61t-co2	4,424,921
50期	876,627,624	110人	7,969,342	4,331,186,407	20.2%	211.44t-co2	4,145,988
51期	1,199,543,618	110人	10,904,942	5,567,996,443	21.5%	218.50t-co2	5,489,902

【加賀ワークス炭素生産性】

期	付加価値額	従業員数	従業員1人当たり	売上額	対売上比率	GHG	1t-co2当たり
14期	267,330,442	140人	2,386,879	965,959,570	27.7%	536.13t-co2	498,630
15期	304,613,876	133人	2,769,217	1,191,023,642	25.6%	489.67t-co2	622,080
16期	569,784,360	144人	5,179,858	1,330,993,531	42.8%	376.72t-co2	1,512,488

＊付加価値額＝営業利益＋人件費＋固定資産額

＊炭素生産性＝GHG排出量1t当たりの付加価値生産額



炭素生産性を増大することができた。

～今後の活動～

【カーボンニュートラルへの継続的な取り組み】

- ・毎月のGHG排出量算出し、更なる自己分析
- ・毎月の補助金チェック
- ・再エネサービスの定期的チェック(サービス、料金)
- ・太陽光パネル導入による電気料金の削減(再エネサービスバックアップ)
- ・4半期に1回委員会開催(9月、12月、3月、6月)
排出量報告、自己分析報告、ロードマップ進捗報告